

いの流水俳壇

「当季雑詠」

復員の父のまなうらに終戦忌

友草 水月選

川村 博子

(評)復員という言葉を知らない世代も多くなつた。兵隊の任務を解かれ家に帰ることである。

昭和20年8月15日に終戦となり、内地や外国にいた兵隊が故郷に復員したが中には外国に抑留され、終戦してから3年も5年もして復員した者もいる。博子さんの父も国の為命を捧げる覚悟で戦場にいたが終戦となり何年ぶりか無事に家族のもとに帰つたのである。涙ながら父を迎えた当時の様子が終戦日を迎える度に眼に焼きついたように思いたすのである。

私も終戦した日の一か月後復員し両親は涙を流して迎えてくれたことであつた。

○夫婦古い泪見せ合ふ終戦日

殿林芭絲子

蝉時雨棠華をしのぶ城趾かな

森岡 照月

(評)この句でまず思い出したのは九州竹田市にある、石垣だけの岡城趾である。往時隆盛と権威を誇つた城、今は建物は何もなく当時を偲ぶ頑強な石垣だけが残っているが、かつては中川氏の城であつた。かの有名な作曲家の瀧廉太郎の「荒城の月」はこの城趾がモデルといわれる。昔の光いまいづくであり、城で象徴する藩政時代の栄枯盛衰に思いを馳せる句である。作者によれば本山城趾であるとの由。

○蝉時雨子は担送車に追ひつけず

石橋 秀野

紐で吊る満月昇る農村歌舞伎

間

浩太

(評)枝川八代八幡宮に奉納される歌舞伎は藩政時代より受け継がれ地元青年達による神楽、歌舞伎である。神楽殿は皿回転の昔のままの廻り舞台で全国的にも貴重なものでも国の重要文化財に指定されている。掲句では舞台の小道具の満月は紐で吊られており劇の進行と共にするすると登っていくのである。月といえば名月赤城山か金色夜叉か演技者と見物客と渾然一体となる見せ場お捻りがたくさん飛ぶのである。

○地芝居の台詞忘れし子に拍手

池野いちび(枝川)

山田は間に沈んで遠き雷

信清

澄恵

(評)山峡の棚田昼間は見慣れた風景ではある、それが夜になり闇が深くなると見慣れた景色もその中に吞まれてしまい、その存在さえ判断できなくなる。思い出したように遠く雷鳴が聞えてくる。時々稲妻が走り一瞬棚田が写しだされるが元の闇に戻る。そんな山里の夜を想い出させる句である。雷は夏に多いことから夏の季語となつているが日本海側では冬でも結構多い。

○遠雷や睡ればいまだいとけなく

中村 汀女

二句抄

減塩の指示破りたる西瓜かな

岡村 嘉夫

終りなき黙禱八月十五日

片岡 包女

遙かなる日がそこにあり原爆忌

竹崎 光子

はたした神轟き喜雨となりにけり

大川 節弥

団扇風昔の風の吹き来たる

送り火や遙けき海の暗かりき

酒蔵の栄えし昔稲の花

井上 郁子

折鶴に息を吹き込む原爆忌

松尾満津於

汗拭いて別の思案に浸りけり

竹崎たかひろ

梅雨籠り余念だらけの思案かな

津田 久美

抽斗の貝殻の私語終戦日

伊藤 萩甫

人間のエゴが猛暑を残す秋

濱田美智子

こし方の想ひ出ばかり夾竹桃

川村 博子

稲穂垂れやさしく風の撫でてゆく

信清 澄恵

じゃんけんの浴衣の父と女の子

森岡 照月

しずまりて赤いポストの暑さかな

友草 水月

夏雲や二度と出さなききのこ雲

水月 芭蕉

戦後という重たき文字や夏の逝く

水月 芭蕉

蝉暑し出口ばかりの過疎の村

水月 芭蕉

つくづくと戦なき世にメロン食ふ

水月 芭蕉

清流の音の中なる夏の朝

水月 芭蕉

町中の暑さのがれて汗見川

水月 芭蕉

骨拾ふ長き竹箸遠き雷

水月 芭蕉

蝉時雨壁に網代笠の一草庵(山頭火)

水月 芭蕉

名句鑑賞

夏草や兵どもが夢の跡

水月 芭蕉

芭蕉の三代の栄耀一睡の中にしてで始まる

水月 芭蕉

私も何年か前に毛越寺を訪れたが、藤原氏滅亡から五百年後芭蕉はこの地を訪ねている。

水月 芭蕉

藤原氏、義経の最後の地、棠華を極めた衣川の館は面影もなく今はただ夏草が無心に茂っているばかりであり「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」という芭蕉の胸中は自然と人間の営みの空しさを追悼した句であると思われる。

水月 芭蕉

次題 「当季雑詠」五句

締め切り 毎月五日

投句先

社会教育課

いの町3597
画 89312012

有料広告

仏壇・仏具・神棚・神具

おおくら仏具店

いの町新町15(高知銀行斜め前)

tel 088-893-0122

営業時間

午前9時～午後6時半

数珠特集

数珠は一人一人のお守りともなる仏具です
貸し借りをするものではありません
自分専用の数珠を持ちましょう

★只今、たくさんのお数珠が入荷しております
★五千円以上お買い上げの方には数珠入れをプレゼント中

当店では修理やオリジナル数珠の製作も可能
天然石のプレスレット・ネックレスもあります

